



▲往年の名車を懐かしそうに眺める姿がたくさん見られました

古き良き時代を思い出し

登米でレトロフェスタ

「第4回昔なつかしレトロフェスタinとよま」が10月14日、登米町内で開催されました。会場となった旧登米高等尋常小学校前庭の通りには、往年の名車が所狭しと並べられ、この日を待ちわびた大勢の見学者が、目を輝かせながら食い入るように見入っていました。また、交通公園（登米警察署跡地）では乗馬体験やバスの展示、フリーマーケットなどの催し物も盛りだくさん。展示されている車を腕組みをしながら眺める60歳前後の人たちの表情が、古き良き時代の思い出のよみがえりを語っていました。

地域スポーツクラブ設立を

南方でベガルタ仙台キッズスポーツ教室

南方地区総合型地域スポーツクラブの設立に向けて、プロサッカーチームのベガルタ仙台によるキッズスポーツ教室が10月22日、南方総合運動場で行われ、地区内の小学生29人が参加しました。ベガルタ仙台指導部に所属する元選手3人の指導により、前半はボールを使わずにウォーミングアップ。後半はボールを使ってのゲームを実施し、子どもたちは真剣なまなざしでボールを追い掛けていました。穏やかな秋晴れの中で行われたこともあり、笑顔でサッカーの基本を学んだ一日となりました。



▲サッカーの基本をベガルタ仙台の元選手から学んだスポーツ教室

お弁当をお兄さんお姉さんと

豊里小・中学校で全校遠足

豊里小・中学校全校遠足が10月10日に行われ、児童生徒555人が参加しました。1・4・7年生が桃生総合グラウンド（石巻市）、2・5・8年生が平筒沼、3・6・9年生が桜・栗公園の3コースに分かれ、それぞれ片道4～5kmの距離をウォーキング。目的地では、学年を縦割りにしたグループでの交流活動を行い、弁当を食べました。帰りは中学生が歩き疲れた小学生に声を掛けたり、手をつないで歩いたり、ほほ笑ましい光景を見ることができ、小・中学校合同の行事で学年を越えた友情がより深まったようでした。



▲年齢が離れていても互いの話題で語り合う児童生徒ら

白熱、そして和気あいあいと

津山で第3回津山地区運動会

第3回津山地区運動会が10月7日、津山運動広場で行われました。2年ぶりの開催となった今年は、穏やかな秋晴れに恵まれ約700人が参加。白熱した中にも和気あいあいと楽しく競技が行われました。種目は、障害物リレーや各年代と一緒に走る混合リレー、出場者を60歳以上と小学生以下に限定した玉入れなど、子どもからお年寄りまでと一緒に楽しめるように工夫が凝らされました。また、花形種目の800mリレーや綱引きでは、応援団が総立ちになり、「頑張れ!」などの大声援が送られました。



▲子どもたちも張り切ってさまざまな競技に参加しました

いざというときのために

石越で街頭犯罪抑止訓練

子どもや女性などの弱者を不審者から守ろうと、街頭犯罪抑止訓練が10月13日に石越地区内の市道で行われ、地区住民や関係者ら約100人が参加しました。訓練は下校途中の児童が不審者に声を掛けられ、強引に車に乗せられそうになり、助けを求めて子ども女性110番の家に駆け込んだと想定。被害者役の佐藤夏子さん（石越小5年）は、警察官に不審者や車の特徴、逃走方向などを正確に伝えました。訓練後は、石越防災センターに会場を移し防災教室も開催。参加者は災害対策などを学習しました。



▲不審者に対応するため本番さながらに行われた犯罪抑止訓練

40周年を迎え、ますます人気

石ノ森章太郎ふるさと記念館で企画展

『第25回特別企画展「これでいいのだ!」赤塚不二夫展』が、1月14日まで石ノ森章太郎ふるさと記念館で開催されています。ギャグ漫画の帝王と称された漫画界の奇才「赤塚不二夫」写真コーナーや、連載40周年を迎えた「天才バカボン」「もーれつア太郎」コーナーがあり、マンガの原画やブロンズ像が展示されています。また、生家では11月3日から18日まで、石ノ森章太郎ヒーロー作品展を開催。一般市民が作成した絵画や粘土・竹細工作品などが展示されますので、ぜひご来館ください。



▲連日多くの家族連れが訪れる石ノ森章太郎ふるさと記念館の企画展